

第1章 鈴鹿市しあわせ環境基本計画実行計画

第1節 鈴鹿市しあわせ環境基本計画

鈴鹿市では、平成11年6月に施行した「鈴鹿市しあわせ環境基本条例」に基づき、快適な環境を確保する取組みを総合的かつ計画的に推進していくための「鈴鹿市しあわせ環境基本計画」を平成13年3月に策定しました。

しかしながら、本計画の策定以降、環境に関する社会経済情勢や市民意識も大きく変化してきています。ごみの資源化や適正な処理、大気汚染・水質汚濁の防止、公園や緑地の確保といった生活に密着した環境の問題から、地球温暖化の防止や生物多様性の保全といった地球規模の問題まで、環境に関する課題は多種多様にわたっており、地域だけではなくグローバルな観点からの対応が求められています。また、東日本大震災の発生や震災による原子力発電所の事故によって、国のエネルギー政策のあり方が大きく見直されようとしている中、私たちの生活や社会、経済の豊かさは、それを取り巻く地球環境の持続性に大きく依存していることを理解して、環境問題に取り組んでいく必要があります。

そのため、これまでの計画を見直し、新たに『豊かな環境のまち 鈴鹿 子どもたちにつなぐ持続可能な社会をめざして』という目標環境像と5つの基本目標からなる計画を平成24年3月に策定しました。

○基本目標

- I 自然と共生する社会の構築
- II 生活環境の保全と創造
- III 低炭素社会（地球温暖化対策）の推進
- IV 循環型社会の構築
- V 環境教育・学習の充実

第2節 鈴鹿市しあわせ環境基本計画 実行計画

「鈴鹿市しあわせ環境基本計画」に示された施策を推進していくための具体的な実践行動を示した「鈴鹿市しあわせ環境基本計画 実行計画」を策定し、実行計画の実現に向けた取組みを行っています。

（※新たな「鈴鹿市しあわせ環境基本計画」に基づく実行計画は現在策定中のため、平成24年度は当初の実行計画に基づき、取組みを行いました。）

第3節 鈴鹿市しあわせ環境基本計画 実行計画の進行管理

実行計画の進行管理については、より効果的、継続的に環境関連施策を意識付け、推進させることができないかと考え、平成15年1月のISO14001の認証取得を機に、実行計画施策を『環境に有益な影響を与える可能性のある要素』と考えることにより、環境マネジメントシステムによる進行管理ができないかを検討いたしました。

その結果、各担当所属自らがP D C Aサイクルによる進行管理を行う方法に改めることとし、平成 16 年度から実行計画の一部の施策の環境マネジメントシステムによる進行管理を開始させ、平成 17 年度から全ての施策を行うことといたしました。

更に平成 20 年度より I S O 1 4 0 0 1 から本市独自の環境マネジメントシステム S u z u k a - E M S に移行をおこない、運用を統一いたしました。

環境マネジメントシステムによる進行管理の概要は、次のとおりです。

鈴鹿市しあわせ環境基本計画実行計画進行管理

環境基本法 第36条

鈴鹿市しあわせ環境基本条例 第8条

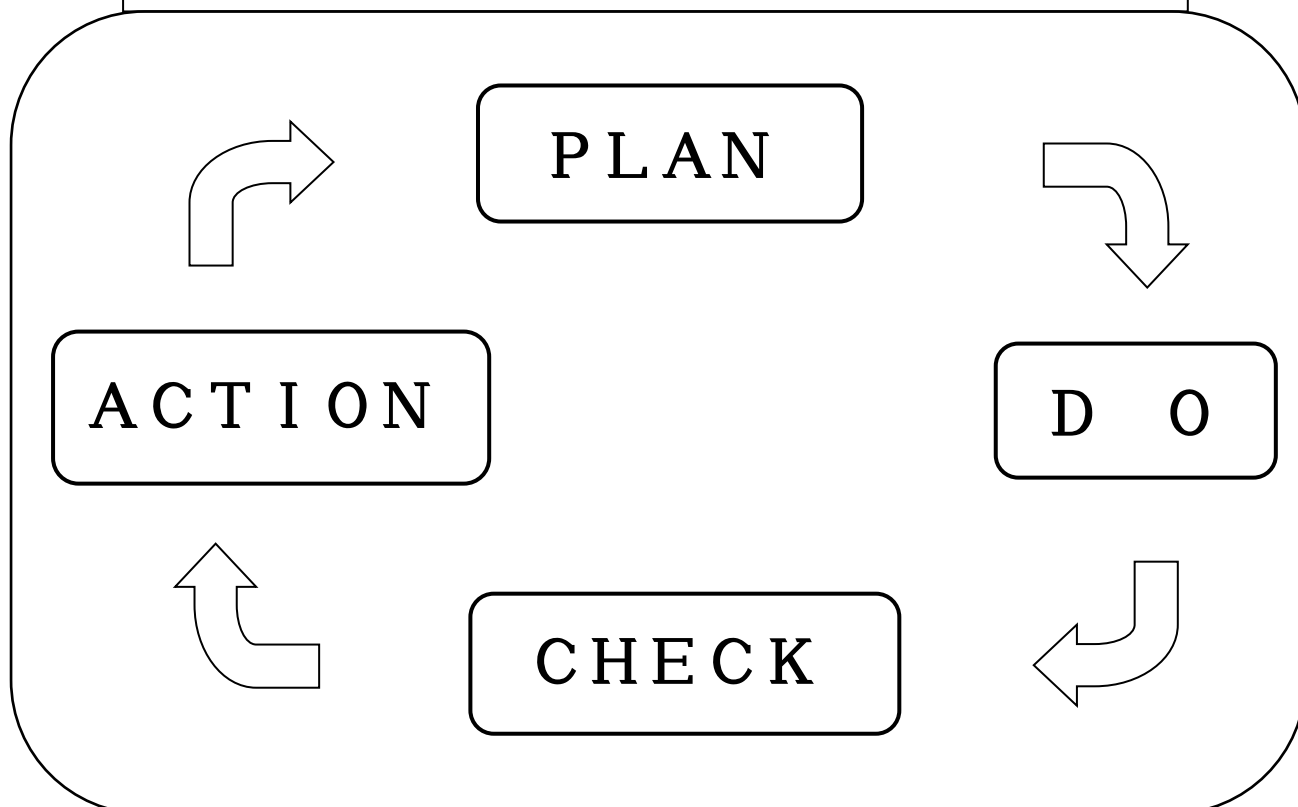
鈴鹿市しあわせ環境基本計画策定（平成24年3月）

鈴鹿市しあわせ環境基本計画 実行計画策定作業中

施策実行

鈴鹿市しあわせ環境基本計画実行計画施策（環境保全事業） 進行管理

Suzuka-EMSに基づく鈴鹿市環境マネジメントシステムにより進行管理



Suzuka—EMSによる「鈴鹿市しあわせ環境基本計画実行計画施策（環境保全事業）」進行管理例

17	鈴鹿市しあわせ環境基本計画 実行計画分野別目標			鈴鹿市しあわせ環境基本計画 実行計画基本方向					鈴鹿市しあわせ環境基本計画 実行計画行動目標					鈴鹿市しあわせ環境基本計画 実行計画施策		
	みんなで話しあい環境づくりに取り組む			心のふれあいから環境教育に取り組む					相互の信頼関係から環境づくりを目指します					環境教育・学習の推進		
	実施施策		実施施策	環境イベントの充実					実施施策 詳細	①環境関連イベントへの参画②温暖化防止出前講座の実施③鈴鹿市の自然についての展示会の開催					担当G	環境政策G 環境保全G
	計画（P）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	環境管理責任推進員評価（3月）	
			・環境関連イベントへの参画について、環境活動団体との連携を図り実施する。 ・市内公民館などからの依頼に応じ温暖化防止または自然関連の出前講座を実施する。											● 実施結果において、目標の達成・実現のための施策を着実に前進させている。（かつ、点検結果において的確な『点検』も行われ、継続的な改善に努めている。）		
	実施結果（D）		3月	・環境出前講座実施 公民館16 幼稚園1 小学校4 ・自然観察会 ・夏の鈴鹿川体験イベント、おいん鈴鹿、しぜんのがっこう、みえ環境フェア、鈴鹿川流域の環境展、鈴鹿サーキットエネチャレ祭などのイベントに参加											○ 実施結果において、目標の達成・実現のための施策を着実に前進させたものとは言いが、点検結果において十分な『点検』が行われており、継続的な改善につながると思われる。	
点検結果（見直し案）（C・A）		・22年度においても、「環境」に関する様々な行事が行われており、市民の環境に関する意識の高まりを再認識できた。23年度以降においても、関係機関・団体との連携を緊密にして各種行事、イベントへの積極的な参加を図る。											○ 実施結果、点検結果ともに不十分であり、目的・目標の達成・実現のための施策を前進させていない。			